

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立上尾南高等学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	開校40周年を機に、「心身ともに健康な生徒の育成」という教育目標を踏まえ、今年度目指す学校像の見直しが図られている。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであり、生徒・保護者・地域などの期待やニーズに十分応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の置かれた状況を踏まえ、今年度一部見直しが図られている。やや網羅的な目標となっているので、日常的な生徒指導による生徒の変容や落ち着いた学習環境などに着目して学校内外の環境分析を行うなど、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	基本的生活習慣の確立等の重点目標を挙げ、その達成に向けて全教職員の共通理解を図り、学校・分掌・学年・個人の目標を連鎖させ、組織力を高めている。教職員が情報を共有し、きめ細かな生徒指導を行う「注意記録」の取組や全教職員が協力して組織的に行う登校指導など、分掌、学年等が緊密に連携しながら厳しさだけでなく温かさを持って目標達成を目指す体制が整えられ、優れた取組が実践されている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	全教職員の共通理解の下、朝学習や朝読書など様々な方策が実施され、始業前に生徒が揃い授業への集中力が高まるなど具体的な成果も上がっている。評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点を加え、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組んでいる。校長の的確なリーダーシップの下、分かる授業、伸びる授業の工夫・改善に向けて教職員間の学び合いを進めるなど、学力向上に向けて教職員の共通理解を深め、次のステージに向けて意欲的な取組を行っている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒・保護者アンケートを実施し、授業満足度など学校自己評価のための情報収集が行われている。「上尾南メール」等の有効活用など、教職員と保護者が緊密に連携することにより、保護者アンケートは97%を超える高い回収率となっている。CAからPDのスパイラルアップを意識して年度評価や学校関係者評価などを基に新たな課題を明確にし、重点目標や次年度の目標・方策に適切に引き継がれており、優れている。	
特記事項			